

H300の内装仕上げのためのヒントと要領

H300 Comfort 取付説明書をお読みください、標準的な取付手順に加えて重要です。

サンルーフの取付を開始する前に、「H300 Comfort 取付説明書」と本資料をお読みください。

追加作業のために別途下記の部材や工具が必要になります。

-オプションパーツ：（Webasto純正 **Mounting set trimshell to headliner** 部番：3395297A）

-リベッター

標準的な取付方法（トリムシェル仕上げ）で綺麗に仕上げるために下記の方法を参考にしてください。

A ルーフとルーフライニングの間に中詰め材を充填するとき.....P.4

B トリムシェルにブラケットを取付るとき.....P.5～12

C ルーフライニング前方とトリムシェルの間に中詰め材を充填するとき.....P.13～15

標準的な取付方法（トリムシェル仕上げ）の実例です。



「Kia（Cee'd SW）2013」完成画像

車種やサンルーフの取付位置により、ルーフとヘッドライナーのクリアランスや、ヘッドライナー形状が異なります。

そのため、ヘッドライナーとトリムシェルが完璧にフィットしない（隙間発生等）場合があります。

この問題を適切に対処して可能な限り綺麗に仕上げます。

参考：ルーフとヘッドライナーのクリアランスが40mmで均等なら、トリムシェルは理想的にフィットします。



H300 Comfort 取付説明書に従い、ルーフ・クロスメンバー・ヘッドライニングを切取ってください。

不要なマスチック剤等を取り除ききれいになったら、ルーフとヘッドライニングのクリアランスを測定してください。

追記：ルーフカット作業の前後で測定可能です。



・車両前方中央から測定を始めます。(35mm)



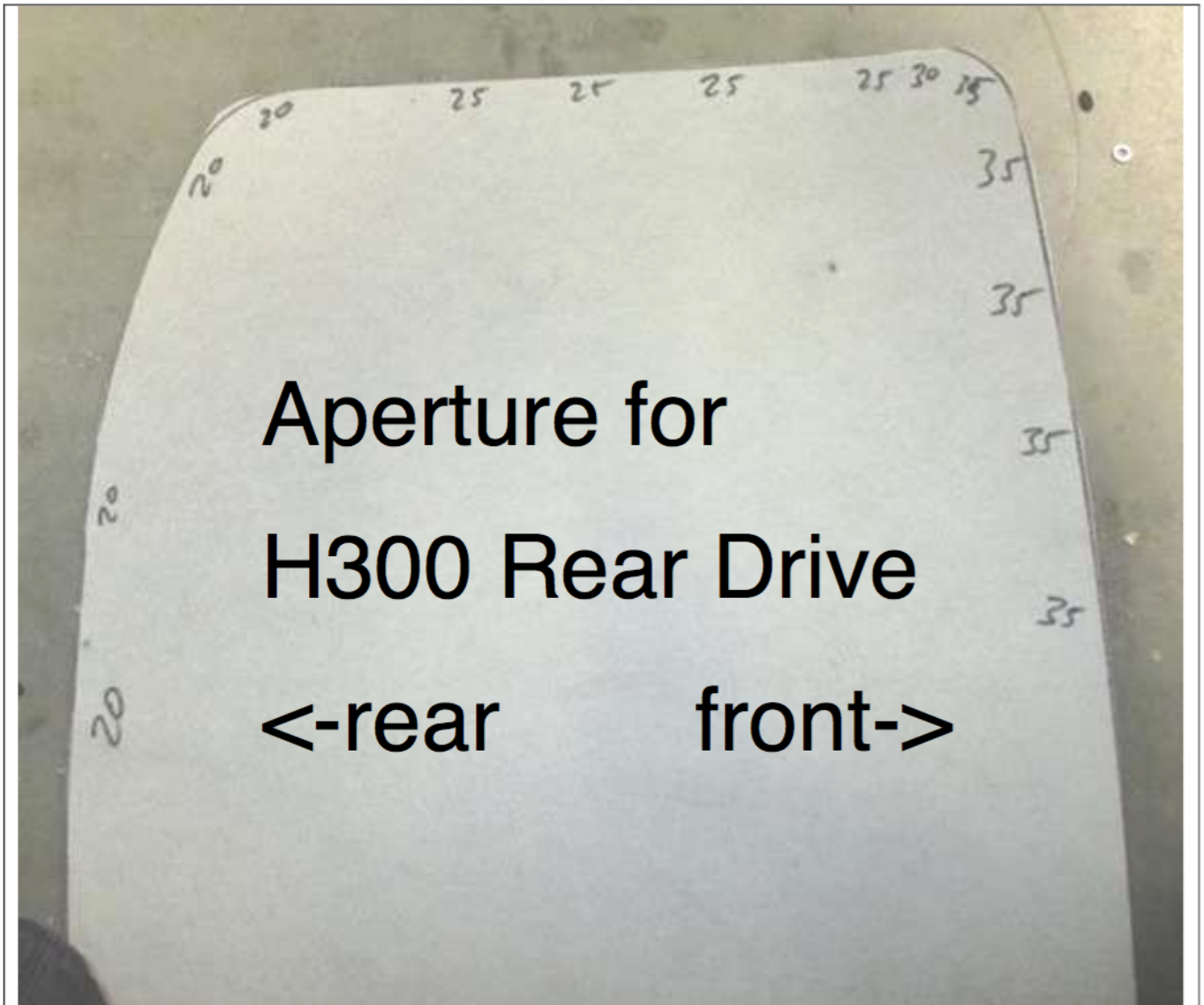
・横に移動しながら各所測定していきます。(35mm)



(20mm)



・車両後方中央 (20mm)



切り取ったヘッドライニングに各箇所のクリアランスを書き出しました。
はっきりしたことは40mmという寸法を満たす場所がないということです。

A.ルーフとルーフライニングの間に中詰め材を充填する。



上は作業前の写真です。

両サイドで測ったクリアランスは20mm～25mmです。

例えば、嵩上げる厚み約20mm分、切り取ったヘッドライニングを中詰め材として利用します。



上は作業後の写真です。

うまくいくかどうかはヘッドライニングの材質によりますので注意してください。
材質や中詰め材の厚みによりシワが出る事があります。（写真矢印の箇所でシワが発生しています）

中詰め材の充填は、サンルーフユニット取付前に行うと作業性が良いです。

B. トリムシェルにブラケットを取り付ける

隙間を埋めるためには、トリムシェルの柔軟性とヘッドライニングの柔軟性が必要です。
通常、この柔軟性は後側のみにあります。

トリムシェルに下記のブラケットを取り付ける事で解決できます。

オプションパーツ：（Webasto純正 Mounting set trimshell to headliner 部番：3395297A）



ブラケットの必要な数と位置を決めてください。
紙テープでヘッドライニングに位置に印をつけてください。
トリムシェルの後側にも印をした位置をコピーしてください。

注意！

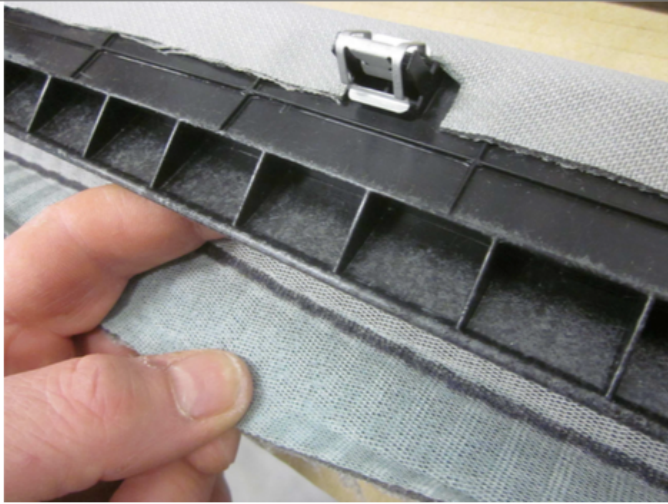
ブラケットの数と位置は状況によります。
例えば、車の違いによる室内灯あるいはルーフライニングの高さ等...



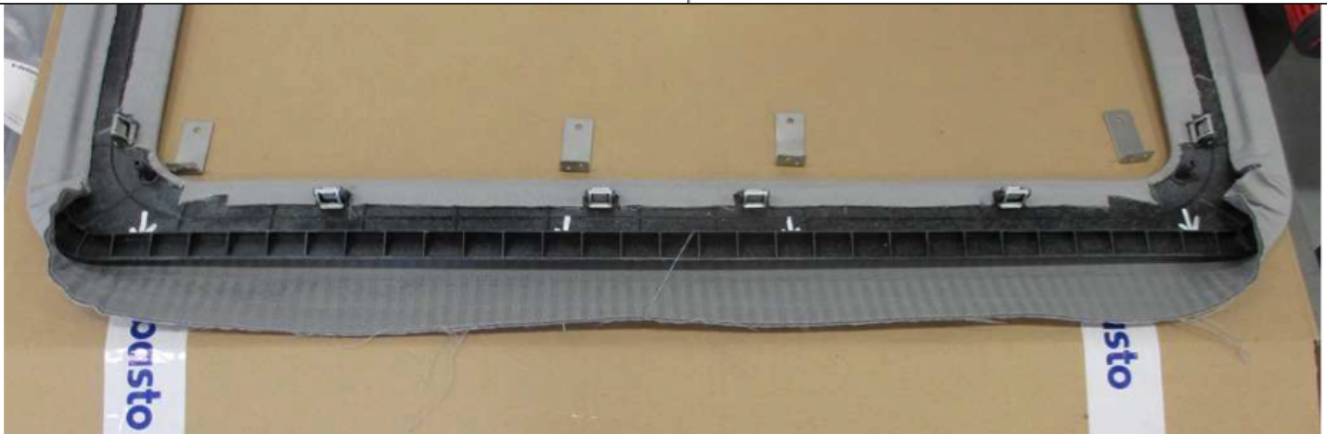
トリムシェル裏側の生地をはがしてください。
（クリップの付いていない側のみ）

注意！

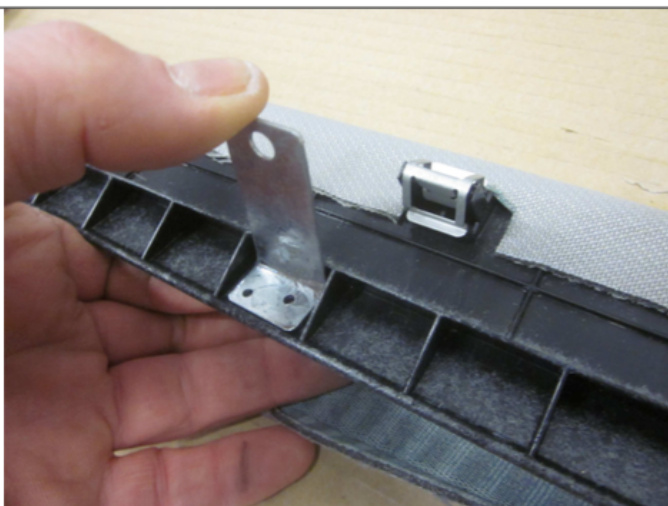
トリムシェルを汚さないように、きれいな作業台などで作業してください。
また、必ずきれいな両手あるいは手袋をはめてください。



汚れや破損に注意して生地をはがしてください。



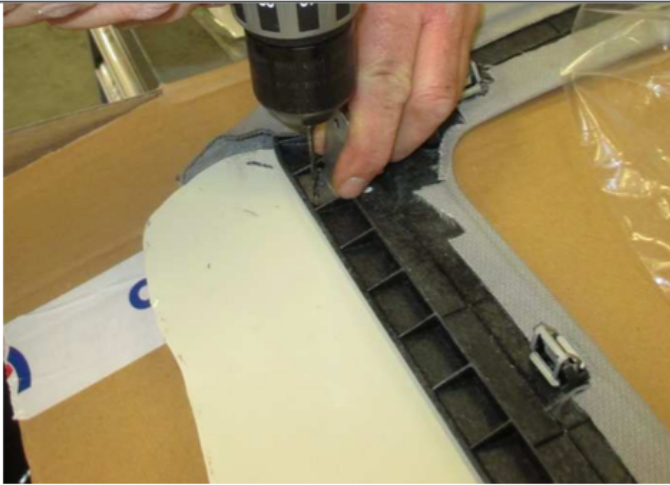
トリムシェルの後側にブラケットの位置をコピーしてください。（上写真の白矢印）



ブラケットの位置を決めてください。

注意！

生地の汚損や破損、指の怪我に気をつけて、トリムシェルに印をした位置にブラケットを置いてください。



ブラケットの穴にしたがって、ドリルで穴をあけてください。

備考！

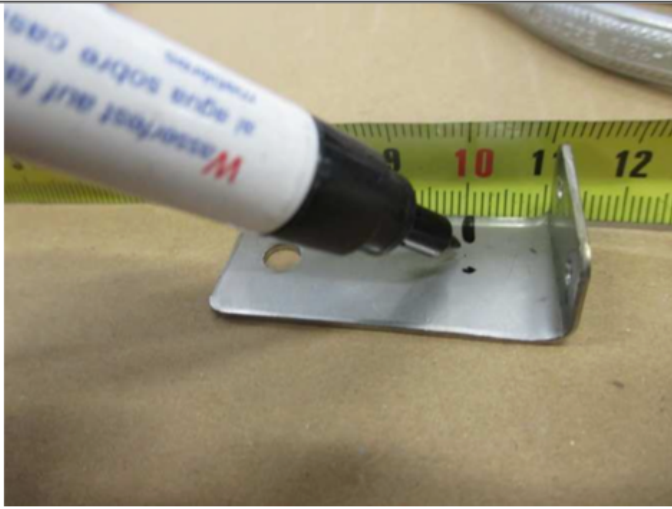
ブラケット取付位置にブラケットを置き、生地を破損しないよう折りたたんでください。



穴あけで出た切りカスをきれいに取り除いてください



ブラケット取付位置にて、ヘッドライニングの厚みを測定してください。



ブラケットにヘッドライニングの厚みが分かる位置で印をつけてください。

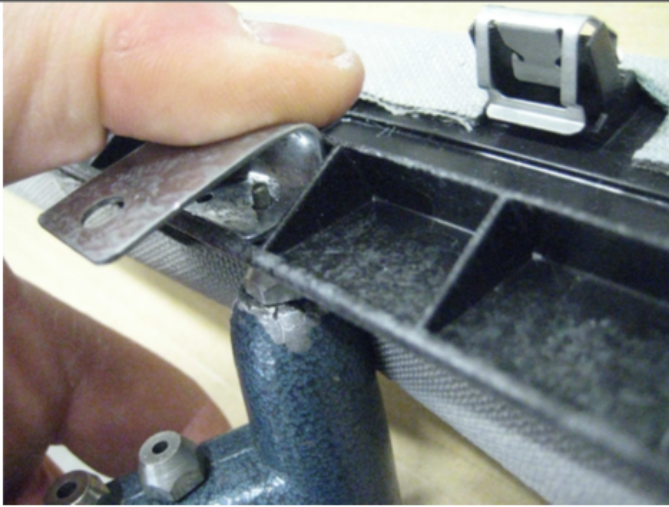


印をした位置でブラケットを曲げてください。

ブラケットの材質は堅くて、手では曲げられませんので、万力などを使用して曲げてください。

最初の曲げの後に、プライヤーを使い適切な位置までさらに曲げてください。



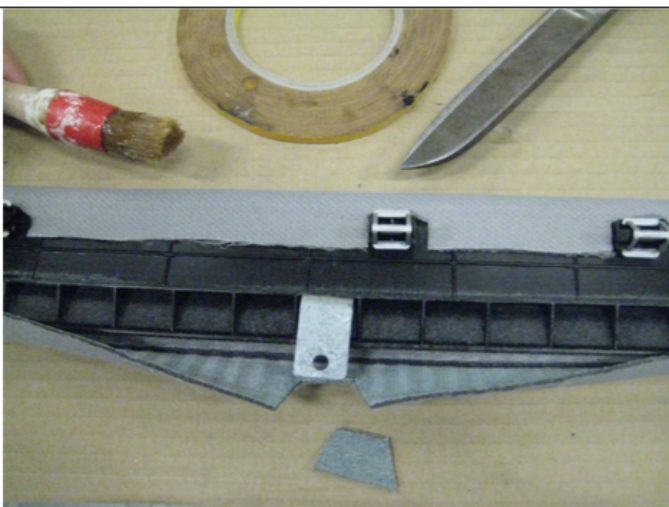


リベッターを使い、穴あけした位置にブラケットをリベット止めしてください。



ヘッドライニングへ引っ掛ける為の間隔を確認してください。

左写真：白矢印を参照ください。



はがした生地を元に戻す為、ブラケットの位置にくる生地を適切に切り取ってください。
(切りすぎに注意してください)

生地裏側に接着剤もしくは両面テープを使い、トリムシェルの裏側で貼り付けてください。



完成です。



出来るだけ必要なブラケットを取り付けてきれいに仕上げてください。
トリムシエルの取り付けは次のステップをご覧ください。



ヘッドライニング後側からトリムシエルに取り付けたブラケットを引っ掛けてください。



端から順番に始めてください。



そして所定の位置に他のブラケットをスライドしてください。



トリムシェルを中央に置いてください。



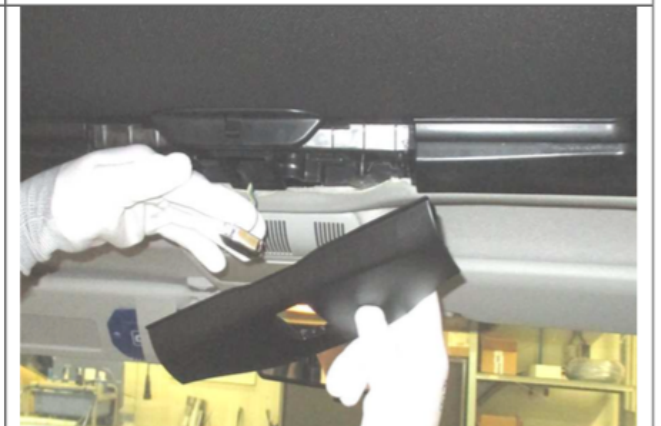
トリムシェルの所定の位置にクランプを押し込んでください。



フロント部のクランプを押し入れて完了です。



トリムシェル前方のネジ（2本）を締め付けてください。



スイッチカバーにスイッチと配線を通してください。



スイッチカバーを取付けてください。



注意してスイッチカバーにスイッチを取付けてください。

スイッチが後部から圧迫されないように、出来るだけ配線を奥に押し込むようにしてください。

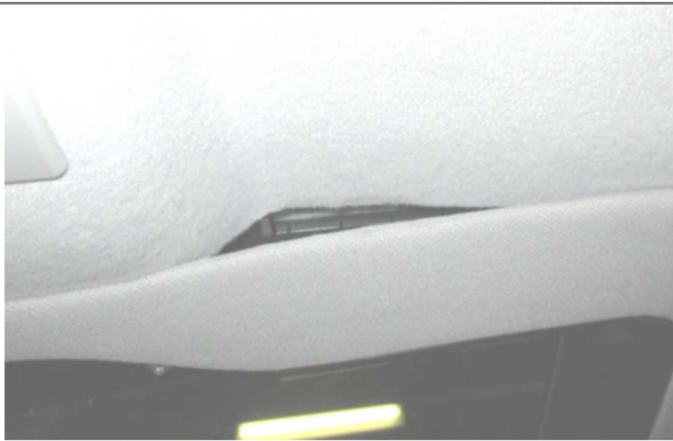


上の写真は「Ford (Fiesta)」の後側から見たH300トリムシェル仕上です。
トリムシェルにブラケットを取り付けて仕上げてあります。



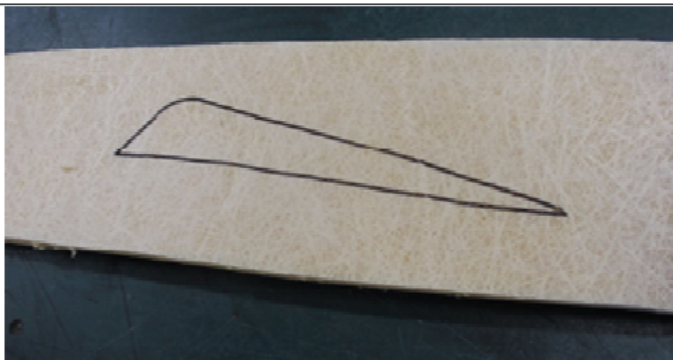
上の写真はトリムシェルにブラケットを取り付けていない時の状態です。

C.ルーフライニング前方とトリムシェルの間に中詰め材を充填する



トリムシェルを取り付ける際に、ヘッドライニング前方（マップランプやコンソールのあたり）に段差がありトリムシェルとの間に隙間が発生する事があります。

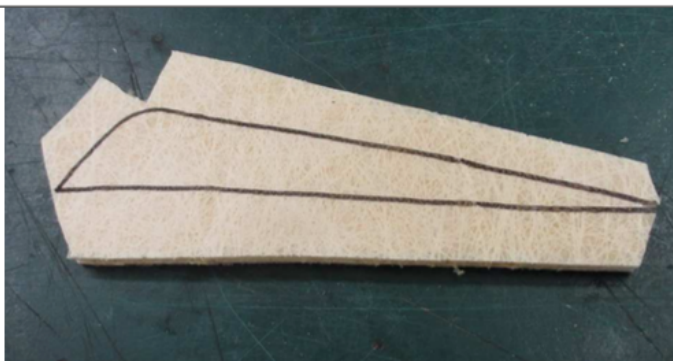
追伸：車の座席に座っているとこのギャップは通常見えませんが、これは望ましいことでもなく、塞ぐことは可能です。



正確な色目を合わせるため、切り取ったヘッドライニングの不要部材を使ってください。

実際の間隙の大きさから余分に約50mm程度大きく切り出します。

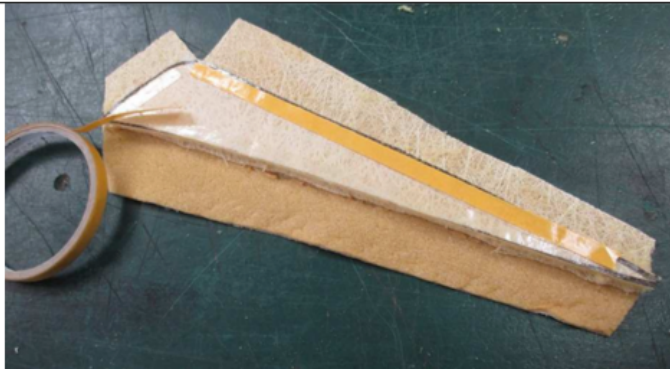
1. 実際の間隙の形状を不要部材の裏面に罫書いてください、



2. 表生地 of 折り返し部分を残すように切り取ってください。表生地を損傷しないように注意してください。



3. 必要に応じて生地の下にある硬い層状の部材を切り落としてください。



4. 生地を折り返して、両面テープや接着剤で接着してください。





5. 隙間をうめる部材の準備ができました。



出来上がった部材を所定の場所に押し込んで完成です。